

令和8年度予算見積調書

課室名：文化財・博物館課
担当名：史跡・埋蔵文化財担当
内線：6988

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P22	特別史跡埼玉古墳群保存活用事業費			一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	埼玉古墳群整備費		
事業期間	平成19年度～	根拠法	文化財保護法	針路分野施策	0803	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 文化芸術の振興	SDGsゴール4 SDGsターゲット4-7			

1 事業概要

本県を代表する文化遺産であり、学術上の価値が特に高く我が国文化の象徴である特別史跡に指定されている埼玉古墳群について、恒久的な保存を図り、未来の世代へ確実に継承するため、必要な整備を行う。

古墳整備費 72,893千円

2 事業主体及び負担区分

【文化庁】
文化財保護普及費補助金
(国1/2・県1/2)

3 地方財政措置の状況

特別交付税
重要文化財等の保存等に要する経費(埋蔵文化財の発掘調査等に係る経費)

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員
9,500千円×3.1人=29,450千円

5 事業説明

(1) 事業内容

特別史跡埼玉古墳群の保存活用計画及び整備基本計画に基づき、整備を行う。

案内板・解説板の製作・設置及び鉄砲山古墳整備工事、史跡監視用防犯カメラ設置

(2) 事業計画

古墳整備費

整備基本計画に基づき案内・解説板を整備するとともに、設計に基づき鉄砲山古墳の整備工事を実施する。

(3) 事業効果

先人から受け継いだ貴重な国民的財産である特別史跡埼玉古墳群を保存・整備し、その本質的価値を顕在化することで、次世代への確実な継承に向けて公開・活用を図ることができる。

過去3年間の実績

令和4年 案内板、解説板の整備

奥の山古墳・丸墓山古墳整備報告書刊行

令和5年 鉄砲山古墳基本設計、案内板、解説板の整備

令和6年 鉄砲山古墳実施設計、案内板、解説板の整備

【活動指標(アウトプット)】

案内板、解説板の整備、鉄砲山古墳整備工事

【成果指標(アウトカム)】

古墳ガイドツアー参加者数 160人、小学校、中学校による教育利用学校数 180校

予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金	県債						
決定額	72,893	36,446	36,000					447	36,742
前年額	36,151	18,075	18,000					76	

事業内訳書

事業名	特別史跡埼玉古墳群保存活用事業費		
単位事業名	古墳整備費	予算額	72,893千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・社会教育費補助金	36,446	18,371	【文化庁】 文化財保護普及費補助金 補助率1/2
県債・教育債	36,000	18,000	史跡整備事業債
一般財源	447	371	
合計	72,893	36,742	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	114	5	整備連絡旅費（文化庁ほか）2回 検査旅費（滋賀県）1回
委託料	2,024	466	案内・解説板製作委託
工事請負費	70,755	36,271	鉄砲山古墳整備工事 案内・解説板整備工事（2基） 史跡監視防犯カメラ設置（5基）

単位事業名	古墳整備費	予算額	72,893千円
-------	-------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	72,893	36,742	